

常磐公園 自然環境調査
第5回ワークショップ資料
(自然環境調査：春季調査結果)

資料編

植物確認種目録

植物重要種目録

植物外来種目録

植物特定外来生物・指定外来種目録

生態概要（植物重要種/植物特定外来生物・指定外来種/鳥類重要種/コウモリ類重要種）

平成29年7月

旭川市土木部公園みどり課

表 1 植物確認種目録 (2)

No.	分類	科和名	種和名	学名	A1					A2					A3					B					C					D、E					
					H25	H26		H28	H29	H25	H26		H28	H29	H25	H26		H28	H29	H25	H26		H28	H29	H25	H26		H28	H29	H25	H26		H28	H29	
					秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	
56	III	クワ	ヤマグワ	<i>Morus australis</i>	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○		○		○	
57			イラクサ	ミズ	<i>Pilea hamaoi</i>	○																													
58			アオミズ	<i>Pilea pumila</i>	○		○																										○		
59			エゾイラクサ	<i>Urtica platyphylla</i>																				○						○					
60		タデ		ミズヒキ	<i>Antenoron filiforme</i>	○	○	○		○																					○				○
61				ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>																	○	○												
62				オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>				○												○	○	○												
63				イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○			○	○			○				○	○				○	○
64				タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i>			○	○	○				○											○			○	○	○				○	
65				オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i>																		○												
66				イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>																														○
67			サナエタデ	<i>Persicaria scabra</i>				○		○										○															
68			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>																○															
69			ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>																	○	○													
70			ハイミチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i>			○	○	○												○	○	○						○			○	○	○	
71			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>	○			○	○	○											○	○	○										○	○	
72			ケイタドリ	<i>Reynoutria japonica var.uzensis</i>			○																				○								
73			オオイタドリ	<i>Reynoutria sachalinensis</i>	○	○	○		○	○	○	○		○		○				○							○	○		○	○	○	○	○	
74			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>										○																				○	
75			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i>			○		○	○																	○	○	○	○	○	○	○	○	
76			エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	○	
77	ヤマゴボウ			ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>					○																									
78				ヤマゴボウ	<i>Phytolacca esculenta</i>			○																									○		
79	スベリヒユ		スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>			○	○									○		○											○					
80	ナデシコ		オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>																													○		
81			ミミナグサ	<i>Cerastium holosteoides var.angustifolium</i>			○	○				○			○	○	○									○			○	○	○	○	○		
82			ヌカイトナデシコ	<i>Gypsophila muralis</i>				○																											
83			ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>																	○								○	○	○				
84			マツヨイセンノウ	<i>Silene alba</i>	○								○						○																
85			ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>																												○			
86			ウスベニツメクサ	<i>Spergularia rubra</i>			○	○	○														○						○	○	○	○	○		
87			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>			○		○						○												○				○		○		
88			ナガバツメクサ	<i>Stellaria longifolia</i>																			○												
89			コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○			○	○	○	○	○	○	○	○		
90			ナデシコ科の一種	<i>Caryophyllaceae sp.</i>										○																					
91	アカザ		シロザ	<i>Chenopodium album</i>			○	○	○																				○	○	○	○	○		
92			アカザ	<i>Chenopodium album var.centrorubrum</i>					○	○									○																
93	ヒユ		イヌビユ	<i>Amaranthus lividus</i>																															
94	モクレン		ホオノキ	<i>Magnolia hypoleuca</i>	○	○	○																						○	○	○	○	○		
95			モクレン	<i>Magnolia liliflora</i>																										○		○	○		
96			コブシ	<i>Magnolia praecocissima</i>																										○					
97			キタコブシ	<i>Magnolia praecocissima var.borealis</i>	○			○		○	○	○		○															○	○	○	○	○		
98	マツブサ		チョウセンゴミシ	<i>Schisandra chinensis</i>																						○									
99	カツラ		カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	○	○		○	○	○					○	○				○	○		○						○	○	○	○	○		
100	キンポウゲ		フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i>		○																							○				○		
101	キンポウゲ		ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i>																										○					
102			シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis var.japonica</i>									○																			○			
103			オダマキ	<i>Aquilegia flabellata var.flabellata</i>	○	○	○																				○	○				○	○		
104			クレマチス	<i>Clematis sp.</i>																													○		
105			コバノハイキンポウゲ	<i>Ranunculus repens var.repens</i>																												○	○		
106			キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>																											○		○		
107			ヤエキンポウゲ	<i>Ranunculus repens 'Gold Coin'</i>									○																						
108			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus var.hypoleucum</i>									○																						
109	メギ		メギ	<i>Berberis thunbergii</i>																									○	○	○	○	○		
110	スイレン		スイレン	<i>Nymphaea hybrida</i>																									○	○	○	○	○		

※種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成28年度版 [国土交通省河川環境データベース]」に準拠した。
 ※分類 I : シダ植物 II : 裸子植物 III : 被子植物 (双子葉類 離弁花類) IV : 被子植物 (双子葉類 合弁花類)
 V : 被子植物 (単子葉類)
 ※ は重要種である。
 ※ は特定外来種である。
 ※ は条例指定外来種である。

表 2 植物重要種目録

No.	科和名	種和名	A1				A2				A3				B				C、D、E				重要種選定基準		備考					
			整備前		整備後		整備前		整備後		整備前		整備後		整備前		整備後		RL	HRL										
			H25 秋	H26 春	H28 夏	H29 秋			H25 秋	H26 春	H28 夏	H29 秋																		
1	ヒノキ	ハイネズ																							R	植栽				
2	キンボウゲ	フクジュソウ		○																○					Vu	植栽				
3	バラ	エゾサンザシ																	○	○	○	○			VU	植栽				
4		キンロバイ																	○	○	○	○			VU	R	植栽			
5		エゾシモツケ																		○	○	○			VU	植栽				
6	アカバナ	ヤマタニタデ											○	○											VU					
7	ツツジ	エゾムラサキツツジ	○			○				○				○					○	○	○	○			VU	植栽				
8	ゴマノハグサ	オオアブノメ															○								VU					
9	ユリ	クロユリ																		○					R	植栽				
10	ミクリ	ミクリ															○	○							NT	R				
計	8科10種		1科 1種	1科 1種	-	1科 1種	1科 1種	-	-	-	1科 1種	1科 1種	-	-	1科 1種	-	1科 1種	-	-	2科 2種	1科 1種	-	3科 4種	4科 6種	2科 4種	2科 4種	4科 6種	5科 7種	5科 5種	
			2科2種				1科1種				1科1種				2科2種				5科7種				8科10種							

※重要種選定基準

RL : 環境省レッドリスト2017【環境省 2017】

EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 I A類 EN : 絶滅危惧 I B類
 VU : 絶滅危惧 II類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足 LP : 絶滅のおそれのある地域個体群

HRL : 北海道の希少野生生物-北海道レッドデータブック【北海道 2001】

Ex : 絶滅種 Ew : 野生絶滅種 Cr : 絶滅危機種 En : 絶滅危惧種
 Vu : 絶滅危急種 R : 希少種 N : 留意種 Dd : 情報不足 Lp : 地域個体群

表 3 植物外来種目録 (1)

No.	分類	科和名	種和名	A1				A2				A3				B				C				D、E				全体 (A1~E)					外来生物法	条例	生態系被害防止外来種リスト		HBL	
				H25秋	H26春	H28夏	H29秋	H25秋	H26春	H28夏	H29秋	H25秋			H26春	H28夏		H29秋																				
1	II	イチヨウ	イチヨウ	○	○	○	○	○						○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
2		マツ	カラマツ																							○	○	○	○	○	○	○	○			国内B		
3			ヨーロッパトウヒ	○																						○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
4			チョウセンゴヨウ																							○	○	○	○	○	○	○	○			国内B		
5			ストロブマツ																							○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
6			オウシュウアカマツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
7	III	ヤナギ	エウロアメリカボブラ	○	○	○		○	○	○	○	○														○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
8			セイヨウハコヤナギ	○	○	○		○	○	○	○	○														○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
9			シダレヤナギ																							○	○	○	○	○	○	○	○			国外B		
10		ニレ	ケヤキ																							○		○	○	○	○	○	○			国内B		
11		タデ	オオケタデ																																国外B			
12			ハイミチヤナギ			○	○	○																			○	○	○	○	○	○	○	○			国外A3	
13			ヒメスイバ		○			○	○																	○	○	○	○	○	○	○	○		総合	その他(総)	国外A3	
14			エゾノギシギシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		総合	その他(総)	国外A3	
15		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ							○																										国外B		
16			ヤマゴボウ			○																														国外B		
17		ナデシコ	オランダミミナグサ																																	国外B		
18			スカイトナデシコ				○																													国外B		
19			マツヨイセンノウ	○																																国外A3		
20			ムシトリナデシコ																																	総合	その他(総)	国外A3
21			ウスベニツメクサ			○	○	○																			○	○	○	○	○	○	○	○			国外B	
22			コハコベ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			国外A3	
23		アカザ	シロザ			○	○	○																													国外B	
24			アカザ					○	○																												国外B	
25		ヒユ	イヌビユ																																		国外B	
26		キンボウゲ	シュウメイギク																																		国外D	
27			オダマキ	○	○	○																															不明D	
28		メギ	メギ																								○	○	○	○	○	○	○	○	○		国内B	
29		ドクダミ	ドクダミ	○		○																					○	○	○	○	○	○	○	○	○		国内A3	
30		アブラナ	ハルザキヤマガラシ				○	○																												総合	その他(総)	国外A3
31			ホソミナズナ																																		国外B	
32			マメグンバイナズナ																																		国外B	
33			キレハイヌガラシ	○				○	○																												国外A3	
34		マンサク	モミジバスズカケノキ																								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		国外B
35		ベンケイソウ	ウスユキマンネングサ																																		国外B	
36			ツルマンネングサ			○																															国外B	
37		ユキノシタ	フサスグリ																																		国外B	
38			マルスグリ																																		国外B	
39		バラ	オランダイチゴ																																		国外B	
40			ヤマブキ	○		○																															国内B	
41			スモモ			○	○	○																													国外B	
42			ユキヤナギ	○																																	国外B	
43		マメ	タヨウハウチワマメ				○	○																												総合	重点	国外A3
44			コメツブウマゴヤシ				○																														国外A3	
45			シロバナシナガワハギ				○																														国外A3	
46			ハリエンジュ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業	国外A2	
47			クスダツメクサ																																		国外B	
48			タチオランダゲンゲ				○																														国外A3	
49			ムラサキツメクサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		国外A2	
50			シロツメクサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	国外A2	
51			フジ	○		○																															国内A3	
52		フウロソウ	ピレネーフウロ																																		国外B	
53		トウダイグサ	コシキソウ				○																														国外B	
54		カエデ	トネリコバノカエデ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		国外B	

※ は特定外来種である。
 ※ は条例指定外来種である。

表 4 植物特定外来生物・指定外来種目録

No.	科和名	種和名	A1		A2				A3				B				C、D、E				外来種選定基準											
			整備前		整備後		整備前		整備後		整備前		整備後		整備前		整備後		整備前		整備後		外来生物法	外来種リスト		条例	HBL					
			H25	H26	H28	H29	H25	H26	H28	H29	H25	H26	H28	H29	H25	H26	H28	H29	H25	H26	H28	H29		区分	詳細							
			秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	夏	秋	春	秋	春	秋	春	夏						秋	春			
1	セリ	イワミツバ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○			指定	国外A2			
2	キク	フランスギク		○	○	○	○																	○	○	総合	その他(総)	指定	国外A2			
3		オオハンゴンソウ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	特定外来	総合	緊急		国外A2
計	2科	3種	1科1種	1科2種	1科2種	1科3種	2科2種	1科1種	1科1種	1科1種	-	-	1科1種	2科3種	2科2種	2科2種	2科3種	1科1種	1科2種	1科2種	2科2種	2科3種										
			2科3種			2科3種			2科3種			1科1種			2科3種																	

※外来種選定基準

- 外来生物法：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
【2004(H16)年6月2日法律第78号、改正2014(H26)年6月13日法律第69号、平成28年8月18日政令283号改正・平成28年10月1日施行】
- 特定外来：特定外来生物（海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもの）
- 外来種リスト：我が国の生態系に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト【2014(H26)年3月26日環境省、農林水産省】
 - 予防：定着を予防する外来種【定着予防外来種】（国内に未定着のもの）
 - 侵入予防：侵入予防外来種（国内に未侵入の種）
 - その他(定)：その他の定着予防外来種（侵入の情報があるが、定着は確認されていない種）
 - 総合：総合的に対策が必要な外来種【総合対策外来種】（国内に定着が確認されているもの）
 - 緊急：緊急対策外来種（対策の緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある）
 - 重点：重点対策外来種（甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い）
 - その他(総)：その他の総合対策外来種
 - 産業：適切な管理が必要な産業上重要な外来種【産業管理外来種】
- 条例：北海道生物多様性の保全に関する条例【2013(H25)年3月29日北海道条例第9号、改正2015(H27)年3月20日条例第8号】
 - 指定：指定外来種（道内の生物多様性に著しい影響を及ぼし、又は及ぼす恐れのあるもの）
- HBL：北海道外来種データベース(ブルーリスト)【2010(H22)年 北海道】
 - 国外：原産地が国外の種 国内：原産地が国内の種 不明：原産地の不明な種
 - A：本道に導入され、定着している種であり、本道への影響が報告されている種
 - B：本道に導入され、定着している種であるが、本道への影響が報告されていない種

カテゴリーAの細区分

- A1：緊急に防除対策が必要な外来種
- A2：本道の生態系等へ大きな影響を及ぼしており、防除対策の必要性について検討する外来種
- A3：本道に定着しており、生態系等への影響が報告または懸念されている外来種

表 5 植物重要種生態概要 (1)

種和名	現地写真	分布	生態概要
フクジュソウ		北海道～九州に点々とあるが、西日本には少ない。朝鮮やシベリア東部にも分布する。 参考文献：「日本の野生植物-草本II-離弁花類(平凡社1982)」	温帯の落葉樹林下にはえる多年草。根茎は太く短く、多数の根を出す。根出葉はない。茎は高さ15～30cm。下部に芽を包んでいた鞘状の大きな鱗片を残し、その腋から枝が伸びる。葉は互生して、3～4回羽状に細かく分裂し、基部に羽裂する小さな托葉がある。花は黄金色、径3～4cm、数個の萼片と20～30個の花弁がある。花弁は長さ2cm内外で、萼片より長い。そう果は倒卵形で長さ4～5mm、全体に短毛がある。花期は3～4月。ふつう開花後に茎が伸び、葉が広がる。
エノサンザシ		北海道、本州(長野県)、サハリンに分布する。 参考文献：「北海道樹木図鑑(亜細亜社1990)」	やや湿った所に生える落葉樹。高さ10m。枝に刺、葉や花序に密毛がある。クロミサンザシは無毛。葉は広卵形で長さ5～10cm、羽状浅裂し鋸歯あり、表面は網脈状にくぼむ。下面毛が多い。花は白色で径約1.2cm。花弁は5枚、6月に開花。果実は球形で径約8mm。9月に黒く熟す。有毛。
キンロバイ		北海道・本州中北部(南アルプスが西限)、樺太・千島・朝鮮北部・中国・ヒマラヤに分布する。 参考文献：「日本の野生植物-草本II-離弁花類(平凡社1982)」	高山帯の岩場にはえる落葉小低木。よく分枝して、高さ30～100cmになる。樹皮は赤褐色で、古くなると紫褐色になりはがれる。花は黄色。
エノシモツケ		北海道・本州(青森)に生育し、朝鮮・中国・千島・樺太～東ヨーロッパに広く分布する。 参考文献：「日本の野生植物-木本I-(平凡社1989)」	高さ1m程の落葉低木。葉は狭長楕円形または長楕円形、長さ1.5～3(～4.5)cm、全縁、または上方に3～5個の鋸歯、表面は無毛または短毛があり、幼時には裏面に軟毛があるが、のちしばしば無毛となる。散房花序に多数の花をつける。6～7月に咲き、白色で径5～7mm。
ヤマタニタデ		北海道と本州(関東北部と中国山地の米ノ山)にあり、朝鮮・中国(東北)・アムール・ウスリーに分布する。 参考文献：「日本の野生植物-草本II-離弁花類(平凡社1982)」	山地の林下にはえる多年草。タニタデに似ているが、茎はふつう無毛で高さ30～70cmになる。葉は長卵形～長楕円状卵形で、縁に浅い鋸歯があり、長さ4～14cm、ほとんど毛はない。花期は6～8月。花序はまばらで、花柄には短い腺毛を密生する。花弁は白色。萼裂片はふつう紫色。
エゾムラサキツツジ		北海道の山地の岩場に生え、朝鮮・中国・ウスリー・シベリアに分布している。 参考文献：「日本の野生植物-木本II-(平凡社1989)」	高さ0.3～1mの半落葉の低木。若枝、葉柄には鱗状毛と短毛が密生する。葉は互生し、やや革質、葉柄は長さ2～5mm、葉身は楕円形、長さ1.5～5cm、幅1～2.5cm、両面に円形の鱗状毛があり、特に裏面に密生する。花期は5月。花冠は紅紫色。

表 5 植物重要種生態概要 (2)

種和名	現地写真	分布	生態概要
クロユリ		北海道・本州中部以北に分布する。 参考文献：「日本の野生植物-草本I-単子葉類(平凡社1982)」	高山または北地の草原にはえる多年草。鱗片は白色で関節がある。茎は高さ10～50cm、3～5輪生の葉が数段につく。葉は披針形または長楕円状披針形で長さ3～10cm。花期は6～8月、茎頂に1～数個、斜め下向きにつく。花被片は暗紫褐色または黒紫色で網目模様があり、長楕円形で長さ25～30mm、基部に腺体がある。雄蕊は花被片の半長、花柱は基部から3枝にわかれる。

※生態概要に使用した写真は現地撮影写真である。

表 6 植物特定外来生物・指定外来種 生態概要

種和名	現地写真	分布	生態概要
イワミツバ		北海道、本州(東京と、神奈川県)に帰化する。ユーラシア原産。 参考文献：「日本の帰化植物(平凡社2003)」	溝端や湿地に生える多年草。茎は直立してあまり分枝せず、高さ40～80cm、無毛、地下茎を引く。葉は3出、または1～2回羽状に復生。小葉は長楕円形、鋭頭、鋸歯縁で、鋸歯は一部重鋸歯状になることもある。花期は6～8月。花は径約2mm、複散形花序をつくり、大花柄、小花柄ともに15～25個で、基部に苞葉がない。花弁は5個、白色。果実は卵状長楕円形、長さ約3.5mm。分果の背には5本の細い脈があるが、油管はない。
フランスギク		北海道、本州に分布。特に北海道に多い。ヨーロッパの温帯地域原産。 参考文献：「日本の帰化植物(平凡社2003)」	路傍や空き地に生える多年草。茎は高さ30～50cm、まばらに枝分かれする。葉は倒卵形～倒披針形で長い柄をもち、両面とも無毛。頭花は径5cmほどになり、枝頂に単生する。総苞は半球形、総苞片は3～4列に並び、披針形～広線形、膜質の辺縁部をもつ。舌状花は白色。冠毛は合着して皿上の突起となる。瘦果は黒色で、白色の10条がある。
オオハンゴンソウ		北海道～九州に帰化する。北アメリカ原産。 参考文献：「日本の帰化植物(平凡社2003)」	湿った草地や川岸に群生する多年草、ときにブナ帯の湿原に生えることもある。横に走る地下茎がある。茎は高さ1～3m。枝分かれし、まばらに短い毛があるか、または無毛でざらつかない。根生葉は2回羽状に深裂し、長柄があり、若い葉には毛が多い。茎葉は互生し、長い柄がある。葉身は羽状に5～7裂し、裂片はさらに中ほどまで裂け、両面に長さ0.5mmほどの毛がまばらにある。花期は7～10月。黄色の頭花を上向きに開く。頭花は径6～10cm。総苞片は2列で長楕円形、鋭尖頭、花期には反り返る。舌状花は6～10個で筒状花は緑黄色。

※生態概要に使用した写真は現地撮影写真である。

表 7 鳥類重要種生態概要

種名	形態	分布	生態
オシドリ	 <p>Photo by CTT Engineering Co., Ltd (他地域で撮影したもの) 体長♂48♀41cm 翼開長70~77cm</p>	<p>日本では、北海道、本州、九州、沖縄で繁殖する。北海道では夏鳥である。</p>	<p>山間の溪流や山地の湖などに生息し、開けた水面に出ることを好まず、周囲に木が生い茂る場所にいることが多い。よく木に止まり、樹上をねぐらとする。植物質のものを主食とし、草木の実を食べるが、特にドングリを好む。水生昆虫などの動物質のものも食べることがある。</p> <p>樹洞に営巣し、産卵期は4~7月で、産卵数は7~12個である。孵化した雛はすぐに歩くことが出来、巣穴から飛び降りた後、親鳥に導かれて水辺に向かう。抱卵、育雛は雌のみが行う。</p>
オオムシクイ	 <p>Photo by CTT Engineering Co., Ltd (他地域で撮影したもの) 全長約11.5cm</p>	<p>北海道知床半島や南千島などで繁殖し、渡りの季節に本州以南にも普通に飛来する。他の夏鳥よりやや遅く、関東地方などでは6月ごろに通過する。</p>	<p>亜高山針葉樹林や森林限界のダケカンバ林、日本海側ではブナ帯の上部で繁殖する。渡り期には低地や低山帯のマツ林や雑木林などで見られ、平地林や公園の植え込みなどでも囀りを聞くことができる。</p> <p>繁殖期は6~8月。さえずり活動は5月下旬から10月上旬までおよび、ずいぶん長い。一夫一妻らしいが、一夫多妻の疑いもある。巣は地上に作る事が多く、藓類が茂る窪みや樹木の根の間、ササの根元、落ち枝の堆積の隙間など、うまく隠れた部分に置く。1巣卵数は4~5個、抱卵は雌だけが行い、12~13日ぐらいで雛が孵化し、抱雛も雌のみが行う。育雛は雌雄共同で行う。雛は13~14日ぐらいで巣立ち、その後約4週間で独立する。</p>

表 8 コウモリ類重要種生態概要

種名	形態	分布	生態
ヤマコウモリ		<p>北海道、本州中部以北、対馬、老岐、福江島、沖縄島に分布する。</p> <p>中国東部、朝鮮半島からも知られる。</p>	<p>前腕長57~66mm、頭胴長89~113mm、尾長51~67mm、体重35~60g、光沢のある褐色系の体毛をもつ。昼間は樹洞に隠れ、日没後に餌を求めて飛び出す。一晩中飛翔する昆虫類を捕食し、日の出前に隠れ家に帰る。交尾は秋に行われるが、排卵・受精は翌春の冬眠覚醒後に起きるようで、多くは2仔、まれに1仔を初夏に出産する。出産・哺育は雌だけの20~50頭以上の大きな集団で行われる。晩秋には冬眠に入り、初春に目覚め活動を開始する。寿命は少なくとも6年以上である。</p>